

# 読むだけで、元気になるレポート

パートナー 村松 達夫

皆さん、明けましておめでとうございます。私は今年も新しいことにどんどんチャレンジしていこうと思います。さて今月もご笑読頂ければ幸いです。

## 【今月の発見】

### 宗教に学ぶ「モチベーションアップ法」

宗教っていうと、最近のカルト宗教など、悪いイメージを持つ方もいるかもしれませんが。しかしキリスト教をはじめ、あれだけ人を巻き込んでいくメカニズムはスゴイですね。

そこで今回は、宗教のメカニズムを応用して、スタッフ全員に高いモチベーションを持って働いてもらう方法をご紹介します。

それは一言で言うと、

**「全ての社員が大切な役割を担っていることを教えてあげる」**

です。

キリスト教を例にとりますと、「イエス・キリスト」がいて、その教えをまとめた「聖書」があり、その聖書を使って、多くの人に伝道させていく「伝道師」がいて、さらに教徒の具体的な悩みを聞いてあげる「神父」がいる訳です。つまりキリストの存在も大切ですが、聖書も伝道師も神父も全て重要な役割なのです。

ではこれを会社に当てはめるとどうなるか、ちょっとやってみましょう。

社長（キリスト）がいて、会社の方向性を指し示します。そしてそれを分かりやすくマニュアルやパンフレットに落とし込む企画部門（聖書）が必要となります。そしてそのパンフレットを使って、営業部門（伝道師）が商品を広めていきます。そして実際にお客様に商品を提供しながら、悩みなどを聞いてあげるお客様窓口（神父）があるのです。

ついつい社長（キリスト）がえらくて、お客様窓口（神父）が汚れ役のように、感じてしまいがちですが、こうして宗教になぞらえてみると、どれも誇りを持って取り組むに値する仕事だということがよくわかります。

是非、皆さんの会社でも、誰がどんな役割を担っているか、話し合ってみると良いですね。